



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 富山第一銀行 上場取引所 東  
 コード番号 7184 URL <https://www.first-bank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 横田 格  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 前田 央 TEL 076-461-3861  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	22,323	△0.4	4,991	1.1	3,437	△14.9
2019年3月期第3四半期	22,410	△15.7	4,939	△29.3	4,037	△15.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 10,057百万円 (-%) 2019年3月期第3四半期 △2,189百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	51.63	-
2019年3月期第3四半期	60.36	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	1,369,127	112,710	7.8	1,604.21
2019年3月期	1,338,165	103,714	7.4	1,473.65

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 106,743百万円 2019年3月期 98,581百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	7.00	-	7.00	14.00
2020年3月期	-	7.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	11.8	3,100	△13.3	46.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	67,309,700株	2019年3月期	67,309,700株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	770,595株	2019年3月期	413,821株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	66,581,990株	2019年3月期3Q	66,885,008株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、国内外の経済情勢、株式市場等の状況変化等がありますが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
※ 補足資料 .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の連結経営成績につきましては、経常収益は株式等売却益の減少により、前年同期比87百万円減少し223億23百万円となりました。経常費用は国債等債券売却損の減少等により、前年同期比1億39百万円減少し173億31百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比52百万円増加し49億91百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比5億99百万円減少し34億37百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期の連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比309億円増加し1兆3,691億円となりました。貸出金は前連結会計年度末比139億円減少し8,097億円、有価証券は前連結会計年度末比563億円増加し4,935億円、預金等（譲渡性預金を含む）は前連結会計年度末比70億円増加し1兆1,998億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表の数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	50,631	39,248
商品有価証券	182	155
金銭の信託	700	700
有価証券	437,255	493,563
貸出金	823,643	809,704
外国為替	1,222	1,166
リース債権及びリース投資資産	8,644	8,683
その他資産	7,298	6,604
有形固定資産	10,960	11,089
無形固定資産	1,068	1,216
繰延税金資産	65	64
支払承諾見返	2,654	2,703
貸倒引当金	△6,161	△5,772
資産の部合計	1,338,165	1,369,127
<b>負債の部</b>		
預金	1,163,718	1,168,670
譲渡性預金	29,021	31,133
コールマネー及び売渡手形	15,000	30,000
借入金	16,380	14,807
外国為替	0	—
その他負債	5,030	3,901
役員賞与引当金	20	16
退職給付に係る負債	679	482
睡眠預金払戻損失引当金	126	72
偶発損失引当金	165	107
繰延税金負債	860	3,742
再評価に係る繰延税金負債	793	778
支払承諾	2,654	2,703
負債の部合計	1,234,450	1,256,416

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
資本金	10,182	10,182
資本剰余金	6,076	6,076
利益剰余金	74,234	76,762
自己株式	△289	△405
株主資本合計	90,204	92,615
その他有価証券評価差額金	7,129	12,863
土地再評価差額金	1,491	1,457
退職給付に係る調整累計額	△243	△193
その他の包括利益累計額合計	8,376	14,127
非支配株主持分	5,133	5,967
純資産の部合計	103,714	112,710
負債及び純資産の部合計	1,338,165	1,369,127

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
経常収益	22,410	22,323
資金運用収益	13,404	13,879
（うち貸出金利息）	6,984	6,635
（うち有価証券利息配当金）	6,390	7,214
役務取引等収益	1,502	1,508
その他業務収益	3,881	5,671
その他経常収益	3,621	1,263
経常費用	17,470	17,331
資金調達費用	517	396
（うち預金利息）	502	384
役務取引等費用	893	855
その他業務費用	4,805	4,324
営業経費	9,715	9,625
その他経常費用	1,538	2,129
経常利益	4,939	4,991
特別利益	24	—
固定資産処分益	24	—
特別損失	10	169
固定資産処分損	10	1
減損損失	0	168
税金等調整前四半期純利益	4,953	4,822
法人税、住民税及び事業税	849	1,193
法人税等調整額	△42	41
法人税等合計	806	1,235
四半期純利益	4,146	3,587
非支配株主に帰属する四半期純利益	108	149
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,037	3,437

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
四半期純利益	4,146	3,587
その他の包括利益	△6,336	6,470
その他有価証券評価差額金	△6,384	6,420
退職給付に係る調整額	47	50
四半期包括利益	△2,189	10,057
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,748	9,222
非支配株主に係る四半期包括利益	558	835



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

※ 補足資料

2 0 2 0 年 3 月 期  
第 3 四 半 期 決 算 説 明 資 料

2020年1月31日

株 式 会 社 富 山 第 一 銀 行

## 2020年3月期第3四半期決算説明資料

### 1. 損益概況（単体）

業務粗利益は、国債等債券売却益の増加等により、前年同期比28億74百万円増加し149億36百万円となりました。

コア業務純益は、資金利益及び役員取引等利益の増加により、前年同期比5億44百万円増加し46億36百万円となりました。

一方、経常利益は、株式等売却益の減少等により前年同期比22百万円減少の46億73百万円、四半期純利益は同6億20百万円減少の33億61百万円となりました。

（単位：百万円）

	2020年3月期	前年同期比	2019年3月期	2020年3月期 通期業績予想 (12ヵ月間) (注2)
	第3四半期 (9ヵ月間)		第3四半期 (9ヵ月間)	
経常収益	18,542	△ 268	18,810	
<b>業務粗利益</b>	<b>14,936</b>	<b>2,874</b>	<b>12,061</b>	
資金利益	13,292	530	12,762	
役員取引等利益	633	47	586	
その他業務利益 （うち国債等債券損益）	1,009 992	2,297 2,386	△ 1,287 △ 1,393	
経費（除く臨時処理分）(△)	9,307	△ 55	9,363	
人件費(△)	4,423	△ 55	4,479	
物件費(△)	4,219	△ 51	4,271	
税金(△)	663	50	612	
実質業務純益	5,628	2,930	2,698	
<b>コア業務純益</b>	<b>4,636</b>	<b>544</b>	<b>4,092</b>	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	4,162	164	3,998	
一般貸倒引当金繰入額①(△)	-	△ 286	286	
<b>業務純益</b>	<b>5,628</b>	<b>3,216</b>	<b>2,412</b>	
臨時損益	△ 954	△ 3,238	2,283	
うち株式等損益(3勘定戻)	△ 1,097	△ 3,903	2,806	
うち不良債権処理額(貸出金関係)②(△)	△ 56	△ 475	418	
うち償却債権取立益③	1	△ 0	1	
うち貸倒引当金戻入益(貸出金関係)④(注1)	194	194	-	
うちその他臨時損益	△ 110	△ 4	△ 105	
<b>経常利益</b>	<b>4,673</b>	<b>△ 22</b>	<b>4,696</b>	4,900
特別損益	△ 169	△ 183	13	
税引前四半期純利益	4,504	△ 205	4,709	
法人税、住民税及び事業税(△)	1,105	334	771	
法人税等調整額(△)	37	80	△ 43	
<b>四半期純利益</b>	<b>3,361</b>	<b>△ 620</b>	<b>3,982</b>	3,000
※ 与信関係費用(①+②-③-④)	△ 252	△ 955	703	

(注) 1. 当第3四半期においては、一般貸倒引当金と個別貸倒引当金の合計額が取崩超過となりましたので取崩超過額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

2. 2020年3月期通期業績予想は、2019年5月10日に公表した予想値であります。

## 2. 有価証券の評価損益（単体）

### (1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益金処理）
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他の有価証券	時価法（評価差額を全部資本直入）
子会社・関連会社株式	原価法

### (2) 評価損益

有価証券の評価損益は、前年同期末比175億55百万円増加し、179億55百万円の評価益となりました。

		(単位：百万円)				(参考)					
		2019年12月末			2018年12月末			2019年9月末			
		評価損益	前 同 期 比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
	満期保有目的	658	122	662	4	535	564	28	791	794	2
	その他有価証券	17,296	17,433	28,050	10,754	△ 136	18,391	18,527	12,789	28,523	15,734
	株 式	8,981	7,947	14,984	6,003	1,034	10,354	9,320	3,259	12,196	8,936
	債 券	3,013	△ 758	3,066	52	3,771	3,775	4	3,940	3,945	5
	そ の 他	5,301	10,244	9,999	4,697	△ 4,942	4,260	9,203	5,589	12,381	6,792
<b>合</b>	<b>計</b>	<b>17,955</b>	<b>17,555</b>	<b>28,713</b>	<b>10,758</b>	<b>399</b>	<b>18,955</b>	<b>18,556</b>	<b>13,580</b>	<b>29,317</b>	<b>15,737</b>
	株 式	8,981	7,947	14,984	6,003	1,034	10,354	9,320	3,259	12,196	8,936
	債 券	3,665	△ 635	3,722	57	4,301	4,333	32	4,724	4,732	8
	そ の 他	5,307	10,243	10,005	4,697	△ 4,936	4,267	9,203	5,596	12,388	6,792

(注) 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

### 3. 預金・貸出金の残高等（単体）

#### (1) 主要勘定末残高及び増減状況

預金等(譲渡性預金含む)残高は、主に公金預金の減少により前年同期末比82億61百万円減少し1兆2,002億26百万円となりました。

貸出金は、地方公共団体向け及び消費者ローンの減少により前年同期末比83億36百万円減少し8,224億24百万円となりました。

有価証券は適切なリスク管理の下、市場動向や投資環境を勘案のうえ外国証券を中心に増加し、前年同期末比574億6百万円増加の4,796億35百万円となりました。

	2019年12月末		2018年12月末	(参考)
		前年同期末比		2019年9月末
預金等	1,200,226	△ 8,261	1,208,487	1,199,658
預金	1,169,092	△ 7,373	1,176,465	1,169,524
譲渡性預金	31,133	△ 888	32,021	30,133
貸出金	822,424	△ 8,336	830,760	812,013
有価証券	479,635	57,406	422,229	462,827

#### (2) 個人預り資産の残高

個人預り資産残高は、投資信託及び年金保険の増加により前年同期末比44億14百万円増加し1,040億85百万円となりました。

	2019年12月末		2018年12月末	(参考)
		前年同期末比		2019年9月末
個人預り資産	104,085	4,414	99,671	103,114
うち公共債	3,010	△ 391	3,402	3,162
うち投資信託	31,664	2,444	29,220	30,699
うち年金保険	69,409	2,361	67,048	69,252

#### (3) 消費者ローン残高

	2019年12月末		2018年12月末	(参考)
		前年同期末比		2019年9月末
消費者ローン残高	191,755	△ 6,270	198,025	193,817
住宅ローン残高	173,408	△ 5,437	178,845	175,058
その他ローン残高	18,346	△ 833	19,180	18,758

#### 4. 金融再生法ベースの 카테고리による開示（単体）

金融再生法ベースの開示債権は、前年同期末比で50億35百万円増加し192億9百万円となりました。

	2019年12月末		2018年12月末	2019年9月末
		前年同期末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,305	660	2,645	3,357
危険債権	13,308	5,035	8,272	12,367
要管理債権	2,594	△ 660	3,255	2,839
<b>合計</b>	<b>19,209</b>	<b>5,035</b>	<b>14,173</b>	<b>18,564</b>
（債権額合計に占める割合）	(2.32%)	(0.63%)	(1.69%)	(2.27%)

- (注) 1. 計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリにより分類しております。
2. 同計数は、当行の定める「自己査定基準」に基づき、各時点で実施した資産査定結果による債務者区分を基にしております。

#### 5. 自己資本比率（国内基準）

2019年12月末の自己資本比率（国内基準）は、単体で11.41%、連結で11.72%となり、いずれも高水準を維持しております。

	〔単体〕		2018年12月末	2019年9月末
	2019年12月末	前年同期末比		
(1) 自己資本比率 (4) / (5)	<b>11.41%</b>	<b>△ 0.43%</b>	<b>11.84%</b>	<b>11.46%</b>
(2) コア資本に係る基礎項目	93,184	1,956	91,227	91,843
(3) コア資本に係る調整項目	1,171	495	675	1,158
(4) 自己資本計 (2) - (3)	92,012	1,460	90,551	90,685
(5) リスクアセット	806,010	41,255	764,755	790,777

	〔連結〕		2018年12月末	2019年9月末
	2019年12月末	前年同期末比		
(1) 自己資本比率 (4) / (5)	<b>11.72%</b>	<b>△ 0.46%</b>	<b>12.18%</b>	<b>11.76%</b>
(2) コア資本に係る基礎項目	97,302	1,724	95,577	95,911
(3) コア資本に係る調整項目	1,216	493	722	1,204
(4) 自己資本計 (2) - (3)	96,085	1,231	94,854	94,706
(5) リスクアセット	819,283	40,665	778,617	805,136